

令和6年度 学校マネジメントシート

(三重県立木本高等学校 (全日制))

I 目指す姿

(1)目指す学校の姿		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の良さを伸ばしながら、目標や夢の実現に向けて努力を続ける生徒育成する学校 ・地域に誇りを持ち社会に役立つ人を育み、地域に信頼される学校
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢や目標をしっかりと持ち、その実現に向けて努力を続ける生徒 ・学習や部活動に積極的に取り組み、自分の良さを伸ばそうとしている生徒 ・地域に誇りや愛着を持ち、地元や県内、国内外で活躍する力を持つ生徒
	ありたい教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校像実現に向け、連携の意識と向上心を持ち、自分の良さを活かして仕事をする教職員 ・授業を大切にし、生徒の学力向上と進路希望実現に努め、生徒の良さを引きだそうとする教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	【生徒】進路実現に向けて学力向上や進路指導に力を入れてほしい。 【保護者】毎日楽しく学んで成長し、進路希望を実現させてほしい。 【進学先】目的意識が明確で、意欲的に学ぶ学生がほしい。 【就職先】素直で元気が良く、向上心と粘り強さを持った人材がほしい。 【地域社会】高校の力を活かして、地域を活性化したい。	
	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>【保護者】子どもを理解し、それを踏まえた教育をしてほしい。安全安心な学校づくりを進めてほしい。</p> <p>【中学校】卒業生(本校入学生)や高校の様子、入試に関する情報を知らせてほしい。</p> <p>【地域社会】地域行事や住民活動、防災の取組等で、高校生に活躍、協力してほしい。</p> <p>【進学先】基礎学力と目的意識を持たせて進学させてほしい。</p> <p>【就職先】社会人として必要なコミュニケーション能力を育成してほしい。</p>	<p>【保護者】本校の教育活動に理解と協力をお願いし、特に家庭でのしつけと学習環境確保に努めてほしい。</p> <p>【中学校】基礎学力と目的意識を持たせて進学させてほしい。</p> <p>【地域社会】生徒の成長を温かく見守り、本校の教育活動に協力、支援をしてほしい。</p> <p>【進学・就職先】体験活動の実施や情報収集等キャリア教育を中心に、本校の教育活動に協力、支援をしてほしい。</p>
(3)前年度の学校関係者評価など	<ul style="list-style-type: none"> ・学習面や進路実現に向け、一人ひとりの目標を高いところに設定できるよう、きめ細かな教育活動を行い、希望する進路の実現に努めてほしい。 ・特別活動等における活動の中で、自己決定力や主体的な活動ができる力を身につけることができるよう今後も取り組んでもらいたい。 ・学習面だけでなく特別活動等でも小中学校や地域住民と連携し、活動を深めてほしい。 	

(4)現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導には、生徒は概ね満足しているが、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業計画の立案、指導力の向上、ＩＣＴ活用や校外との交流活動を推進し、主体的な学習活動となるよう取り組むことが求められている。 学校行事等の特別活動で、一人ひとりを大切し、達成感や自己肯定感が高まるような活動に取り組むことが期待されている。 教員間での情報共有や指導内容の共有を進め、さらにきめ細かい指導を継続していく必要がある。 一人ひとりを大切にした学校づくりのため、面談やアンケート等で生徒の声を聞きながら、生徒一人ひとりに丁寧な対応をしていく必要がある。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> 授業力向上や進路指導・生徒指導のスキルアップ及びコンプライアンス意識向上を中心に、教職員の資質向上に取り組む。 本校における取組内容や活動成果等について、積極的な情報発信を行う。 業務等の効率化・精選、会議の効率化等により、総勤務時間を縮減する。 日頃からの教職間の情報共有と連携強化に取り組む。 学校統合に必要な事項を迅速に決定し、適時適切に情報発信していく。 近隣の学校や地域の関係機関等との連携を図る。

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> 各教科及び総合的な探究の時間等の授業を中心に、生徒一人ひとりの意欲を高め、学力を伸ばす。 年間を通して多様な特別活動に取り組み、生徒一人ひとりと向き合い、規範意識を高める。 各教科、総合的な探究の時間及び特別活動等、教育活動全体を通じて、生徒一人ひとりに応じた進路保障に努める。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員が連携して授業改善とキャリア教育を進め、生徒の学力向上と進路希望実現に努める。 教職員が意欲的に充実感を持って仕事に取り組めるよう、連携・協力の態勢を強化し、業務内容の見直しと効率化をすすめ、総勤務時間を縮減する。 地域等のニーズ把握と連携、ＰＲに努め、教育活動を改善し、地域からの信頼を深める。

4 求める生徒像

入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	<p>【普通科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 志望動機が明確で、高校生活にしっかりととした目標・目的意識を持つ生徒 特に、明確な進路意識を持って、その実現のために努力を継続できる生徒 学業が優秀であり、普通科での学習活動に真面目に取り組める生徒 特に、共通教科を中心とした普通科での学習に取り組むために必要な基礎学力や興味・関心、学習意欲等を有する生徒 <p>【総合学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 志望動機が明確で、高校生活にしっかりととした目標・目的意識を持つ生徒 学業が優秀であり、総合学科での学習活動に真面目に取り組める生徒 特に、スポーツ活動や文化活動または生徒会活動等に取り組んできた経験や、それらについての優れた実績や能力があり、入学後もその活動を生かして学校生活を送ることができる生徒
---------------------------------	--

5 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	<p>● 1学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりを大切にした教育を目指し、生徒の状況を把握して学年間で共有する。 <p>【活動指標】個人面談等を年3回実施する。</p> <p>● 2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりの状況を把握し、必要なことは教員間で共有する。 <p>【活動指標】学級担任による個人面談等を年3回以上実施する。</p> <p>● 3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 面談や担当教員による生徒の観察を行い、生徒一人ひとりの状況を把握し、必要なことは学校全体で共有・対応する。 <p>【活動指標】年間3回以上の面談と必要な全体共有を行う。</p> <p>●総務教務部（教務）</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人が学習を通して自己実現をとげるために、思考力・判断力を教科横断的に高める。 <p>【活動指標】知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度を意識した授業参加をさせる。学期ごとの成績がその指標である。</p>		(年度末および適宜記載)
キャリア教育の充実	<p>● 3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりが進路目標を設定し、その実現に向けた指導をとおして卒業後のビジョンを持たせ、ワクワクして卒業させる。 <p>【活動指標】年間3回以上の面談、生徒一人ひとりの状況を把握するためのアンケートの実施</p> <p>●進路指導部</p> <ul style="list-style-type: none"> 丁寧に生徒の希望を聞き取り、生徒の適性、保護者の意向をふまえた進路指導を展開する。 <p>【活動指標】1・2年生への進路ガイダンスを実施する。また、進路情報を提供する。</p> <p>【成果指標】就職希望者の内定率100%、生徒の進路決定に関する満足度調査90%以上</p>		(年度末および適宜記載)

	<p>●図書部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力向上及び進路希望実現に向けた資料を収集し、利用促進を図る。 <p>【活動指標】年間10回以上の図書館だより・展示物等による情報共有を実施する。</p> <p>●生徒指導部（生徒会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体性を尊重した生徒会活動を実施する。 	
一人ひとり を大切にし た安全安心 の学校づく り	<p>●総務教務部（総務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災に対する意識を高め、実践的な防災教育を推進する。 <p>【活動指標】避難訓練や防災に関する講話等を年3回以上実施する。</p> <p>●生徒指導部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめを許さない学校風土を定着させる。 <p>【活動指標】いじめについての生徒アンケートを年3回以上実施し、その結果を分析・確認、教員全体で共有する。</p> <p>●保健部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命について生徒が主体的に考える機会を設ける。 <p>【活動指標】講話・講演会を年間3回以上実施する。</p> <p>●人権教育部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分だけでなく自分以外の人の人権も尊重する意識を育み、人権にかかわる様々な問題に目を向け、その解決に向けた学習をする機会を設ける。 <p>【活動指標】人権学習を1・2学年では年3回、3学年では年2回実施する。また、年1回全校人権フェスティバルを実施する。</p>	(年度末および適宜記載)
改善課題		
(年度末に記載)		

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質向上の取組	<p>●総務教務部（教務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科としてチームワークをもって教科指導にあたるとともに、教員一人ひとりが研鑽に努めるよう促す。 <p>【活動指標】シラバス作成、教科書採択などを教科全員で実施する。</p> <p>【成果指標】生徒の成績向上・模擬試験の結果の向上</p>	(年度末および適宜記載)	

	<p>●教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員に対して、カウンセリングや生徒対応に関する研修会を実施する。 <p>【活動指標】年1回以上実施する。</p> <p>●図書部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員に授業内容や学習活動充実のためのサポートを行い、学校図書館の授業活用を促進する。 <p>【活動指標】図書部資料集を作成し情報を提供する。</p> <p>●人権教育部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員自身の人権感覚の向上を図る。 <p>【活動指標】人権学習の指導案検討、人権学習通信の発行</p> <p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の授業力を向上させる。 <p>(1) 公開授業を行い、参観者の意見・感想等を全教職員で共有する。</p> <p>【活動指標】年2回実施する。</p> <p>(2) 生徒対象の学習アンケートを実施する。</p> <p>【活動指標】年2回実施する。</p> <p>【成果指標】2回目の授業満足度が1回目より5%以上増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼される学校・教職員であり続けるための取組を実践する。 <p>【活動指標】生徒に体罰・セクハラ防止に関するアンケートを実施するとともに、教職員対象の校内研修を実施する。また、不適切な事務処理等の事例を全教職員で共有する。</p>	
情報提供による信頼の構築	<p>●総務教務部（情報）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページを活用し、情報発信を行い、保護者や地域との連携の促進を図る。 <p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関等への情報提供や取材依頼をとおして、生徒の姿を中心に、本校の取組内容や成果について、積極的に情報発信を行う。 <p>【活動指標】報道機関に対して、年5回以上の情報提供や取材依頼を行う。</p>	(年度末および適宜記載)

保護者・地域住民等との連携	<p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開授業等を行い、生徒の様子を直接見ていただく機会を設ける。 <p>【活動指標】年3回以上実施する。</p>	(年度末および適宜記載)	
働きやすい職場環境づくり	<p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の時間外労働時間を削減する。 <p>(1) 業務の削減・精選・効率化を図る。 【成果指標】時間外労働時間が月45時間および年間360時間を超える教職員が0人、一人当たりの平均時間外労働時間が月30時間以下、夏季休暇以外の年休取得合計日数が平均15日以上</p> <p>(2) 定時退校日の設定 【活動指標】定時退校日を月1回設定する。 【成果指標】定時退校日に定時退校した教職員の割合70%以上</p> <p>(3) 部活動休養日の設定 【活動指標】部活動の休養日を週1日以上設定する。 【成果指標】休養日を月4日以上実施した部活動の割合100%</p> <p>(4) 会議時間の短縮 【活動指標】会議時間を60分以内にする。 【成果指標】60分以内に終了する会議の割合80%以上</p> <p>(5) 学校閉校日の設定 【活動指標】学校閉校日を年2回以上設定する。</p> <p>●総務教務部（情報）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校務の情報化により作業効率向上を図り、教師が生徒にかかわれる時間を多くする。 	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
----------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての 改善策	(年度末に記載)
---------------	----------

学校運営についての 改善策	(年度末に記載)
------------------	----------